

登園許可証明書（保護者記入）

園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発生での発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、子ども達が一日快適に生活できることが大切です。

入所園児がよくかかる下記の感染症については、「登園のめやす」を参考に、医師の診断に従って、登園届の提出をお願いいたします。

なお、園での集団生活に適応できるように、全身状態が良好であることが基準となります。

* 登園の際には、下記の登園届の提出をお願いいたします。

登 園 届
東江こども園長 あて
クラス名 _____
園児氏名 _____
病名「 _____ 」と診断され、
令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日 医療機関名「 _____ 」において
病状が回復し、集団生活に支障がない状態と判断されましたので登園いたします。
令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日 保護者氏名 _____ 印

* 医師の診断を受けて、保護者の方が記入する登園届が必要な感染症

該当疾患に ○	疾 患 名	登 園 の め や す
	マイコプラズマ肺炎	発熱や激しい咳が治まってから 全身状態が良いこと
	手足口病	熱が下がり（解熱後1日以上経過）、口腔内の水疱や潰瘍がなくなり、普通の 食事がとれるようになってから 全身状態が良いこと
	伝染性紅斑（リンゴ病）	発疹があっても熱が下がり、全身状態が良いこと
	感染性胃腸炎	下痢、嘔吐の症状が治まり、普通の食事がとれるようになってから ※症状がある間は感染する恐れがあるため登園できない 全身状態が良いこと
	咽頭結膜熱 （プール熱・アデノウイルス感染症）	主な症状が消え、2日経過してから
	ヘルパンギーナ	熱が下がり（解熱後1日以上経過）、口腔内の水疱や潰瘍がなくなり、普通の 食事がとれるようになってから 全身状態が良いこと
	RSウイルス感染症	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
	ヒトメタニューモウイルス	咳が落ち着いて、全身状態が良いこと
	帯状疱疹	発疹がすべて消え、かさぶたになってから 全身状態が良いこと
	突発性発しん	解熱後1日以上が経過し、機嫌が良く全身状態が良くなってから
	アタマジラミ	駆除を開始していること 全身状態が良いこと
	溶連菌感染症	医療機関で処方された抗生剤を内服後48時間以上が経過し、全身状態が良 くなってから
	伝染性膿痂疹（とびひ）	皮疹（ひしん）が乾燥していること。医師の指示に従う

※「全身状態が良い」とは・・・①機嫌・活発さ、②食欲（乳児の場合は哺乳力）、③意識状態、④表情・顔色、⑤発疹、⑥体位・歩行、⑦呼吸状態などの項目を総合して全身状態といい、どの項目も良好であることが「全身状態が良い」とします。

該当疾患に ○	疾患名	登園のめやす
	麻疹(はしか)	熱が下がって3日を経過してから
	インフルエンザ	発症した後5日を経過し、かつ熱が下がった日の翌日から3日を経過し、体力が回復してから
	新型コロナウイルス感染症	発症した後5日を経過し、かつ発熱や痰、のどの痛みなどの症状が消え、1日経過してから
	風しん(三日ばしか)	発しんが消えてから
	水痘(みずぼうそう)	発疹がすべて消え、かさぶたになってから
	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫れが出現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になってから
	結核	医師により感染のおそれがないと認められてから
	流行性角結膜炎(はやり目)	感染力が非常に強いため、結膜炎の症状が消え、医師に感染の恐れがないと認められてから
	百日咳	特有の咳が出なくなるまで、または5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了してから
	急性出血性結膜炎	医師により感染のおそれがないと認められるまで
	髄膜炎菌性髄膜炎	病状により医師において、感染のおそれがないと認められるまで
	腸管出血性大腸菌感染症 (O157 O26 O111など)	症状が治まり、かつ抗菌薬の治療が終了し、48時間あけて2回検便によって菌陰性が認められた場合(医師に感染の恐れがないと認められてから)
	その他()	

※感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での園生活が可能状態になってからの登園であるようにご配慮ください。